家庭園芸　球根の掘りとり

暦のうえでは梅雨に入りますが、今年の本格的な梅雨はいつからになるでしょうか。この時期になりますと、暑さも加わって園芸の仕事に苦労します。秋に植え込んだチューリップ、ヒアシンス、クロッカスなどは地上部が枯れはじめてきたら収穫します。スイセンなど、二、三年掘りあげなくともよいものもあります。葉の青いうちは地中の球根は充実してゆくと考えてよいのですが、大体、葉の三分の一くらいの枯れこみ時を目安に掘りとります。雨天の時はさけ、晴天の日がつづいて、土が乾いているときに、ていねいに球根を傷つけないように収穫します。収穫後の球根は風通しのよい涼しい日陰か室内などで乾燥させます。このときに腐敗していたり、病気のあるもの、傷ついたものは取り除きます。チューリップは収穫後、秋の植え付け時までの間に、翌年の開花に大切な花芽が生長し、充実していきますから、貯蔵中の管理が大切で、夏はできるだけ涼しいところに貯蔵しておくことです。

(園芸センター)

残り油から石けん

廃物利用で 鳥屋野潟を浄化

熱心に石けん作りに取り組む参加者（曽野木公民館で）

「天ぷらなどの残り油を捨てていませんか。廃油から台所用せっけんができます」。

鳥屋野潟浄化と廃物の有効利用をテーマに、五月二十五日、曽野木公民館で「台所用石けん作り講習会」が開かれました。

作り方は簡単。材料として用意するのは、天ぷら廃油〇・九リットル、カセイソーダ百五十グラム（薬局で買う。印鑑が必要）、ご飯百五十グラム、熱湯一リットル、十八リットル缶。

まず、①十八リットル缶に、カセイソーダとご飯を入れる②そこに百度くらいに熱した廃油を入れる③熱湯一リットルを入れる④これを太い木の棒でかきまぜる（十五～三十分）。その後は一日から二日おきに、熱湯一～二リットルを入れてかきまわすと、一カ月ほどで使用できます。

この講習会を主催したのは、曽野木地区の主婦グループ「大根の花生活学校」（土肥るい子代表）。

同生活学校で、曽野木、東曽野木両小学校のPTAを通じ、約千二百人に、天ぷら油の処分の方法についてアンケートしたところ、「新聞紙などにしみ込ませ燃えるゴミとして捨てる」が半数ほど。「土に埋める」「使い切る」と答えた人もいましたが、「下水に流す」という人が一六・三％もいました。鳥屋野潟へ流入する汚濁物質は、生活排水が約七割を占めているため、これも汚濁原因の一つになっています。

「何とかしなくては…」と思っているところへ、石けんの製造法を聞き、生活学校の運動として、取り上げることにしました。

土肥るい子代表の話　鳥屋野潟周辺に、二十年以上も住んでいて、年々汚れていくのを見てきました。合成洗剤がテーマの講演会を聴き、汚濁の原因は自分たちにもあるんだと感じました。生活学校では合成洗剤の有害性を訴える映画の上映も行っています。

生き生き67万時間

② なんのための学習

生涯教育〝市民の意識調査〟から…

前回は「生涯学習を続けることがボケないために必要だ」と書きました。では、生涯学習はボケないためだけにするものでしょうか？

ある肉屋さんの話

KOさん（四十八歳）は、鐙の肉屋さんです。十八歳から修業して、今はベテラン中のベテランです。

でも、店主のKOさんは、今でも毎日、自分で肉をはずす（骨から離す）のです。そして、時々、はずした小さな肉片を見つめて、じっと考えこんでいるのです。

「大ベテランが、どうしたんですか…」

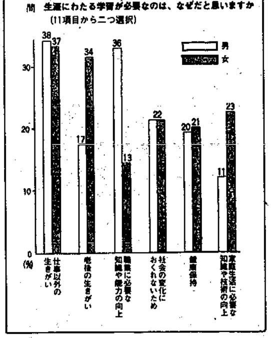
「どんな牛かなあと考えているんです。一丁前の肉屋なら、小さな肉片を見て、それがどこでどんな飼育をされた、何歳くらいの牛のどの部分か見当がつかなければ、自信をもって売れないんです。解剖学の本を見たってよくわからない。毎日、毎日自分の眼で見たり、指の感覚で勉強するよりほかに方法がないんです。肉屋なら、みんなこうしているんです。一生こんな勉強を続けなければ、これからは、肉屋として生き残っていけないんですよ」

時代に遅れないために

この激しい時代の移り変わりの中で、同じことが、農業でも、電気屋さんでも、学校の先生でも、お医者さんでも、いわれるのだと思います。

若いころ、学校で習ったことだけでは、技術の進歩や知識の発達にはついていけません。その日、その日の、絶え間ない学習が必要なのだといえそうです。

生涯学習が必要な理由のもう一つは「ただ、趣味や楽しみだけではなく、自分の職業をより充実させたり、目まぐるしく変化する世の中に生きていくため」ということになります。



（教育委員会社会教育課）

58年度ファイヤーコンテスト

流作場地区が優勝

市民組織の防火協力団体である市防火連合協議会は、五月二十四日、消防局で前年度のファイヤーコンテストを行い、防火活動に優れた十七団体と八人を表彰しました。

表彰団体、個人は次の通り。

〔優良防火連合会〕

全市優勝　流作場地区（川崎昇之助会長）

▽東一位　石山地区（田中政次会長）▽西一位　西第七地区（桜田鐵治会長）▽東二位　中地区（黒井直吉会長）▽西二位　関屋浜浦地区（田沢秀次会長）▽東三位　木戸地区（小林豊蔵会長）▽西三位　坂井輪地区（野本達郎会長）

無火災賞　大江山地区（五十嵐文一会長）　関屋松浜地区（山田幸一会長）　坂井輪中央地区（山田利弥会長）　小針山の手中央地区（大滝保会長）　五十嵐地区（永田安雄会長）

〔優良町内防火協会会長表彰〕

▽石山地区　石山第六自治会　▽木戸地区　中山居前二丁目自治会　▽笹口校区　鐙第二自治会　▽濁川地区　濁川一丁目防火協会　▽西第一地区　学校町三防火協会

〔防火功労者〕

▽流作場地区　生野政市　▽石山地区　貝津正雄　伊藤禮作　▽中地区　鈴木忠治　▽濁川地区　佐藤清一郎　▽西第一地区　坂井勇吾　▽西第七地区　寺山徳四郎　▽坂井輪地区　山際幸一

青年の家会場会員募集 ②（おわり）

青年の家（弁天3・☎44―4828）

サークル名	内容	会費	活動日	申し込み ☎
越後ハイキングクラブ	ハイキング、冬山	年 4,000円	1.3(水)	長谷川 恒雄62―5968
小林寺拳法新潟万代支部	少林寺拳法	月 3,000円	毎(月)(木)(金)	水野 邦夫 85―9555
栄ダンス同好会	社交ダンス	月 2,000円	毎(木)	佐々木 75―2876
ぎくしゃく	レクリエーションダンス	月 100円	3(月)	広瀬 勝利 67―1292
新潟レクリエーション協議会	レクリエーション	年 1,000円	毎(火)	宇田 強 59―4822
レククラブ ゆう	〃	年 2,000円	2.4(火)	小柳 正義 44―1390
レク・イージー	〃	年 1,000円	毎(木)	小林 美奈子47―5831
波グループ	キャンプ、ハイキング	月 200円	毎(木)	高橋 春栄 22―0702
S・H・I・P	高校生のボランティア	随時	1.3(土)	ボランティアビューロー 43―4370
アウト・ドア・ウインド	中・高校生による野外活動	年 1,000円	2.4(日)	東樹 道隆 45―2742
深美会	盆景・立体画	月 2,000円	2.4(火)	菅原 精一 47―7508
駒美会	紙人形	月 200円	毎(月)	千葉キヨ子 44―3660
きん木せい	パッチワークマクラメ入り	3ヵ月 2,500円	2.4(木)	有馬佐代子 47―6449
越路採拓会	拓本の研究	年 2,000円	1.3(土)	小柳 正義 44―1390
健康体操の会	ジャズダンス、ヨガ	月 2,000円	毎(月)	藤沢 33―6013
西会新潟支部	健康法	なし	隔月4(日)	小林 正平 84―9871

心配ごと、困りごと お気軽にどうぞ

民生委員を紹介 ⑪

地区	氏名	電話番号	担当地区
石山2地区	山際 市蔵	76―3894	東中野山6・7丁目、新岡山2丁目の一部
	渡辺 初子	76―3298	中野山7丁目の一部、東中野山1丁目、東中野山2丁目の一部
	白川幸一郎	76―1888	東中島2丁目、東中島3丁目の一部
	柳下 光子	76―0122	東中野山2・3丁目の各一部
	杉山 峰	76―2996	下場新町1・5丁目、下場本町、中野山3丁目
木戸1地区	本間 重典	73―9448	中山2・5丁目の各一部
	本間 政次	74―0716	中山8丁目
	増井 とよ	74―3832	山木戸3丁目
	上野 喜助	74―0675	山木戸4・5丁目の各一部
	増井 加枝	73―5868	山木戸2・3丁目
	阿部 哲雄	73―3912	山木戸1丁目
	松田 愛子	73―8405	中山1丁目、中山5丁目の一部
	渡辺 文治	71―2873	中山6・7丁目の各一部
	児島ヨシ子	74―7225	山木戸4・5丁目の各一部
	長谷川正平	75―0865	中山3丁目、中山4丁目の一部、牡丹山1丁目
	田辺 善作	73―2632	山木戸4・5丁目の各一部
	高橋 金吾	74―6620	中山2・5・6丁目の各一部
	吉原イト子	74―0542	中山6・7丁目の各一部
	前川 麗子	73―9593	山木戸5・6・7丁目の各一部、下木戸の一部

木戸1地区の民生委員は次回へ続く

新潟を知る集い

転入者の皆さんへ

会場　南部公民館（☎66―4939）
対象　58年4月以降に転入した成人45人（先着順）　**運営費**　1,700円
申し込み　6月14日までに住所、氏名、性別、年齢、電話番号を明記し、返信用封筒（60円切手をはる）を同封のうえ南部公民館（〒951関屋金鉢山90―5）へ

月日	時間	内容
6・22	午後1時半～3時半	民謡を習って新潟まつりへ
6・25	午前9時半～午後2時40分	市政バスで施設見学（日本海タワー、水族館、亀田焼却場、鳥屋野総合体育館ほか）
6・29	午後1時半～3時半	新潟名物笹だんごを作りましょう
7・6	〃	笹川勇吉（郷土史研究家）〝港と町人の街〟
7・13	〃	笹川勇吉〝郷土の生活―新潟もんのくらし〟
7・20	午前9時半～午後零時半	史跡めぐり（徒歩）…北方文化博物館新潟分館、会津八一記念館、北原白秋の碑ほか

初心者のための話し方

月日	内容：講師	時間・その他
6・20	「心に残る話し方」：桑原大宗	午後6時半～8時半 運営費 1,000円
6・27	「敬語の使い方」：山本和之	
7・4	「敬語の正しい使い方」：山本和之	

図自然科学講座～災害を考える～
日時　6月21日、7月12、19日午後6時半～8時半 ※8月24日は現地研修
講師　青木　滋（新大教授）

会場　鳥屋野地区公民館
定員　各40人（先着順、成人に限る）
申し込み　電話で会場（☎85―2371）へ

中野小屋地区体育祭

日時　6月17日午前8時半～午後4時半
会場　中野小屋中学校グラウンド
問い合わせ　西地区公民館へ（雨天中止）

初心者硬式テニス教室

日時　6月28日～10月25日毎週木曜日午前10時～正午
会場　岡山ヤマシンテニスクラブ
参加費　月1,500円（コート使用代ほか）
持参品　ラケット、テニスシューズ、運動着
申し込み　電話で石山地区公民館（☎86―5631）へ　―定員20人―

写真がうまくなる3ヵ月

日時　6月14日～8月2日毎週木曜日午後7時～9時（8回）
会場　北地区公民館
内容　カラー技法、接写と複写、夜間撮影の解説、モデル撮影ほか
費用　材料費実費
申し込み　6月13日までに電話で会場（☎59―7330）へ　―先着20人―

各種団体のリーダーの皆さんへ

「リーダーのあり方」

日時　6月16日午前10時～正午
会場　西地区公民館
講師　吉川　弘（新大教授）
申し込み　会場（☎61―0031）へ

坂井輪図書館読書会

会場　坂井輪地区公民館3階和室
問い合わせ　坂井輪図書館（☎60―3242）へ

月日	テーマ図書	時間
6・20	吉野セイ著「洟をたらした神」（文春文庫）	午前10時～正午
7・18	竹西寛子著「儀式」（中公文庫）	

庭作り相談会

日時　6月17日午後1時～3時
会場　市園芸センター（越後石山駅近く）